

タスク	小目標	中目標	大目標
1aよく使う薬の分類にはどのようなものがあるかを列挙する。「便秘薬、風邪薬…」 1b薬の分類の名称を中国語でどう表現するかを調べる。 1c薬の分類の名称を暗記し、口頭で言えるように練習する。	よく使う薬の分類の名称を言うことができる。	薬の名前を挙げてそれがどうか尋ねることができる	薬が必要になったとき、薬屋さんで必要な情報を伝えて薬を買うことができる。
<b>【形成的評価】薬の分類の口頭で言うテスト（1a-1cの評価）</b>			
2a「××があるか？」を尋ねる文型を学ぶ。 2b「薬の分類の名称」を組み合わせて「××があるか？」と尋ねる／答える。	お店で「××があるか？」を尋ねることができる。		
<b>【形成的評価】指定された薬があるかどうか尋ねる文、答える文を構成できるかどうかの筆記テスト（2a, 2bの評価）</b>			
<b>【形成的評価】店員と客になって、教師が指定された薬の有無を尋ねる／答えるテスト（1と2を合わせた評価）</b>			<b>【状況設定】</b>
3a体の部位の名称を学ぶ。 3b体の部位の名称を暗記し、口頭で言えるように練習する。	体の部位を挙げて簡単な症状を言うことができる。	症状を訴えて薬があるかどうか尋ねることができる	あなたは中国語ができない友人／家族と一緒に中国を旅行する予定です。同行者の体調が悪くなったときのために、中国語ができるあなたは、簡単な体調、症状、薬の種類を、中国語で伝える必要性を感じました。
<b>【形成的評価】体の部位を口頭で言えるかどうかのテスト（3a, 3bの評価）</b>			
4a症状を訴える表現にはどのようなものが必要かを列挙する。 4b症状を訴えるとき中国語ではどう表現するかを調べる。 4c「体の部位の症状を表現する」文型を学ぶ。 4d体の部位と組み合わせて症状を口頭で言う。			
<b>【形成的評価】教師が指定した特定の部位の特定の症状を口頭で表現するテスト（3と4を合わせた評価）</b>			
5a店員に向かい、あいさつをしたうえで、誰がどんな症状を訴えているかを伝え、薬の有無を聞く一連の談話の構成を学ぶ。	店員に向かい、症状を言ったうえで「薬があるか」と尋ねることができる。		
<b>【形成的評価】あいさつから始まり、薬の有無を聞くところまでの談話を構成できるかどうかの筆記テスト（3と4と5を合わせた評価）</b>			
<b>【総括的評価】</b> ロールカードを渡して、その内容に応じた薬を買うために必要な行動が取れるかどうかをチェックする。「あなたは中国語ができない友人／家族と一緒に中国を旅行しています。その友人が「……」という症状を訴えています。薬屋さんに行き、必要な薬を買ってください」			